

臨床研究に関する公開情報

2021年2月8日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡ください。解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：回復期遠隔心臓リハビリテーションの効果に関する研究

研究期間：倫理委員会承認後 ～ 2024年3月までを予定しています。

対象：2015年4月1日～2020年12月31日に兵庫県立尼崎病院、あるいは兵庫県立尼崎総合医療センターにて心臓の病気で入院・治療を受け、退院後2～3ヶ月後、あるいは5～6ヶ月後に心臓リハビリテーションにて心肺運動負荷試験または6分間歩行試験を受けた患者さん

研究目的：新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大により、病院に患者を集めて集団で指導する外来心臓リハビリテーションが全国的に休止に追い込まれているため、情報通信技術を用いた在宅での遠隔心臓リハビリテーションが期待されておりますが、従来のリハビリテーションと同様に安全かつ有効であるか検討していく必要があります。そこで今回の研究では、外来心臓リハビリテーションをおこなった患者さんの入院中及び外来での検査結果や、カルテに記載されている情報を収集し、遠隔心臓リハビリテーションを行った患者さんの結果と比較することで遠隔心臓リハビリテーションの安全性・有効性を検証することを目的としております。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、生年月日、性別などの基本情報、入院時情報、既往歴、治療歴、退院時・退院2～3ヶ月後の検査結果（採血、心電図、心エコー、6分間歩行、心肺運動負荷試験）、処方薬情報などがあります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：研究責任者 兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科 谷口良司

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77

TEL：06-6480-7000（代表） FAX：06-6480-7001